

日本語（JA）

# グローバル補助金申請書のテンプレート

以下のページは、オンラインのグローバル補助金申請書の入力項目と質問をまとめたものです。申請の計画を立てる際に、この文書をご参照いただけます。実際の補助金申請書は[www.rotary.org/ja/grants](http://www.rotary.org/ja/grants)からご入力ください。

ステップ1：基本情報

#### プロジェクト名をご入力ください。

#### 計画しているプロジェクトの種類（人道的プロジェクト、職業研修、奨学金のいずれか）

グローバル補助金で支援する活動は、ロータリー重点分野に該当するものである必要があります。

#### このプロジェクトの代表連絡担当者（実施国側担当者と援助国側担当者の両方）をお選びください。

実施国側の代表連絡担当者は、プロジェクト、研修、留学が行われる国に居住している人とします。援助国側の代表連絡担当者は、実施国以外に居住する人とします。双方の連絡担当者は、本補助金と関連するすべての連絡とロータリー財団への報告の責任を負います。

## ステップ2：委員会メンバー

この委員会に、少なくとも実施国側提唱者から2名のメンバー、援助国側提唱者から2名のメンバーをお選びください。

#### 本補助金の委員会メンバーに関する情報をご入力ください（実施国側提唱者からのメンバー）。

#### 本補助金の委員会メンバーに関する情報をご入力ください（援助国側提唱者からのメンバー）。

#### これらの委員会メンバーのうち、利害の対立が生じる可能性のある人はいますか。可能性がある場合、簡潔にご説明ください。

「利害の対立」は、補助金や奨学金にかかわる人とその家族、知り合い、事業上の利害関係者、またはその人が管理委員、理事、役員を務める組織が、本プロジェクトまたは補助金から利益や恩恵を得ると思われる場合に生じる可能性があります。

## ステップ3：プロジェクトの概要

#### 　本プロジェクトの主な目的と受益者について情報をご入力ください。

以下の欄には、プロジェクトの大要のみをできるだけ簡潔に入力してください。 詳細は申請書の後のほうでご入力いただきます。詳細は申請書の後のほうでご入力いただきます。

## ステップ4：重点分野

#### 本プロジェクトはどの重点分野を支援しますか。

少なくとも1つの分野をお選びください。選択された各分野について目標を設定し、質問にお答えいただきます。

[ ] 平和構築と紛争予防

[ ] 疾病予防と治療

[ ]  水と衛生

[ ]  母子の健康

[ ]  基本的教育と識字率向上

[ ] 地域社会の経済発展

[ ]  環境（2021年7月より）

## ステップ5：成果の測定

#### （該当する重点分野の）どの目標を支援するものですか。

該当する目標をすべてお選びください。選ばれた目標について質問にお答えいただきます。また、プロジェクトの終わりに、各目標に向けた成果をご報告いただくことになります。各重点分野には一連の目標が定められています。このプロジェクトが支援する目標のみお選びください。

#### プロジェクトの成果をどのように測りますか。

プロジェクトの目標と明らかに関連し、プロジェクトが受益者の生活／知識／健康に与えた成果を実証するような評価基準のみを使ってください。成果測定のヒントと情報は、「[グローバル補助金：モニタリングと評価の計画について](https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/global-grant-monitoring-and-evaluation-plan-supplement)」をご参照ください。申請書のドロップダウンメニューにある標準的な評価基準を少なくとも一つ含める必要があります（必要に応じて行を追加してください）。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価基準  | 情報収集方法  | 頻度  | 受益者 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

#### モニタリングと評価のために誰が情報を収集するかお分かりですか。

分かる場合、その担当者または組織の名前と連絡先を記入し、その人または組織が情報収集を行うのに適している理由を簡単にご説明ください。分からない場合、情報収集を担当する人または組織をどのように探す予定かをご説明ください。

## ステップ6：実施地と実施時期

### 人道的プロジェクト

#### プロジェクトの実施地と実施期間をご入力ください。

## ステップ7：参加者

**協力団体（任意）**

#### 協力団体の名前、ウェブサイト、所在地をご記入ください。

このプロジェクトの実施に直接関与する非政府組織、地元市民団体、政府機関を「協力団体」とすることができます。ロータリーと各協力団体の代表者による署名が入った 「[覚書](https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/cooperating-organization-memorandum-understanding)」を添付 してください（必要に応じて行を追加してください）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 団体名 | ウェブサイト | 所在地 |
|  |  |  |
|  |  |  |

#### この団体と協力する理由、およびこの団体が担う役割をご説明ください。

### 協力パートナー （任意）

パートナーには、ほかのロータリークラブ、ローターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、個人を含めることができます。

#### このプロジェクトに参加するそのほかのパートナーを挙げてください。

### ボランティアの旅行者（任意）

人道的プロジェクトのための補助金で、現地で研修を提供する、またはプロジェクト実施を支援する2名までの旅費を賄うことができます（ただし、これらの人が持つスキルが現地で得られない場合に限ります）。

#### この旅行者の氏名とEメールアドレスをご入力ください。

#### この人がプロジェクトで担う役割をご説明ください。

### ロータリアンの参加

#### このプロジェクトで実施国側ロータリアンが担う役割をご説明ください。

#### このプロジェクトで援助国側ロータリアンが担う役割をご説明ください。

## ステップ8：予算

#### プロジェクトの予算に使われている通貨をご入力ください。

プロジェクト費用の支払いのために主に使われる通貨をお選びください。

#### 米ドル（USD）との為替レート：

#### プロジェクトの予算

プロジェクトの各予算項目を以下のリストに挙げてください。プロジェクトの予算合計は、調達資金の合計と同額である必要があります（調達資金は「ステップ9」で入力）。WF上乗せを含むプロジェクトの予算は、少なくとも30,000ドルとなる必要があります（必要に応じて行を追加してください）。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| # | カテゴリー\* | 内容 | 業者名　 | 金額（現地通貨） | 金額（米ドル） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 予算合計： |  |  |

\*カテゴリーの例：宿泊、機材、モニタリングと評価、運営、人件費、プロジェクト管理、広報、標識、備品、研修、旅行、授業料

#### 補足文書

上記リストの費用を裏付ける文書（入札書や見積送り状など）をアップロードしてください。

## ステップ9：調達資金

#### プロジェクトのために調達した資金を以下にご入力ください。

ここに入力された情報を基に、国際財団活動資金（WF）からの上乗せの上限額が計算されます。現金拠出金とDDFを含む調達資金をすべて挙げてください（必要に応じて行を追加してください）。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| # | 資金源 | 詳細 | 金額（米ドル） | 追加金\* | 合計 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

\*グローバル補助金プロジェクトのために財団に現金拠出金を送金する場合、この資金の手続きにかかる費用をまかなうために5 ％の追加金が適用されます。この追加金は、クラブと地区のポール・ハリス・フェロー認証ポイントの対象となります。

#### 国際財団活動資金（WF）からの上乗せとして申請する金額を以下にご入力ください。

WFから、DDFに対しては同額が上乗せされます。

## ステップ10：持続可能性

持続可能なプロジェクトは、補助金が使い果たされた後にも、地元の人びとが継続していくことのできる長期的な解決策をもたらします。このプロジェクトにおける持続可能性の要素について、以下の質問にお答えください。

### 人道的プロジェクト：プロジェクトの立案

#### プロジェクトで取り組む地域社会のニーズをご説明ください。

#### これらのニーズをどのように特定しましたか。

#### ニーズへの解決策を見つけるにあたり、受益地域社会の人はどのように参加しましたか。

#### プロジェクトの立案において、受益地域社会の人びとはどのように関与しましたか。

### 人道的プロジェクト：プロジェクトの実施

#### プロジェクト実施における各段階の概要を記入してください。

資金調達、申請、報告にかかわる段階は含めないでください（必要に応じて行を追加してください）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| # | 活動内容 | 期間 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

#### このプロジェクトと関連して現地団体が行っているほかの取り組みと調整を図っていく予定ですか。「はい」の場合、現地団体によるほかの取り組みについて、またその取り組みがプロジェクトとどのように関連するかについて、簡単にご説明ください。「いいえ」の場合、ほかの現地団体は上記のニーズに取り組んでいないのでしょうか。取り組んでいる場合、その団体と協力しないのはなぜですか。ご説明ください。

政府、非営利団体、民間企業など、ほかの組織と協力することでメリットが得られる可能性があります。

#### このプロジェクトに含まれる研修、地域社会の人たちとの協力、または教育的要素についてご説明ください。

#### これらのニーズをどのように特定しましたか。

#### 地元の人たちによるプロジェクトへの参加を奨励するため、インセンティブを利用しますか。利用する場合、それはどのようなインセンティブですか（例：謝礼金、表彰、修了証授与、広報など）。

#### 補助金活動が終了した後に、引き続きプロジェクトを監督する地域住民または団体の名前をすべて挙げてください。

必ずしもロータリー会員やロータリークラブであるとは限りません。

### 予算

#### 予算に含まれている項目を現地業者から購入する予定ですか。業者から購入する場合、どのように業者を選定しますか。選定プロセスをご説明ください。

#### 業者の選定にあたって、入札を行いましたか。入札を行わない場合、ご説明ください。

#### このプロジェクトで購入した設備・資材の操作とメンテナンスの計画を記入してください。この計画には、操作とメンテナンスを行うのは誰か、その人たちがどのような研修を受けるかを含める必要があります。

#### 補助金活動が終了した後に、地域社会の人びとはどのように設備のメンテナンスを行っていきますか。交換部品は入手可能ですか。

#### 設備を補助金で購入する場合、設備は文化的に適切であり、地元地域のテクノロジーの水準に沿ったものですか。「「はい」の場合、ご説明ください。「いいえ」の場合、プロジェクトでは、地域社会の人びとがこのテクノロジーを採用できるよう、どのように援助しますか。ご説明ください。

#### プロジェクトの完了後、補助金資金で購入した物品は誰が所有しますか。ロータリー地区、クラブ、会員が所有者となることはできません。

### 資金調達

#### プロジェクトの成果を長期的なものとするため、地元での資金源を見つけましたか。見つけた場合、この資金源についてご説明ください。

#### このプロジェクトには、プロジェクトを継続していくための資金となる収入を生み出す要素が含まれていますか。含まれている場合、詳しくご説明ください。

#### プロジェクトは小口融資活動を含んでいますか。含んでいる場合、[小口融資に関わる補足資料](https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/application-supplement-microcredit-projects)のファイルをアップロードしてください。